

府中市文化振興計画の策定にあたって



府中市長

野口忠直

私たちのまち府中市は、今から約1,300年前の大化の改新により武蔵国の国府が置かれ、長きにわたり文化的発展を続けてきた歴史と伝統のあるまちです。市内には、先人たちから受け継いだ文化的資源(歴史資源、自然資源、文化施設など)が数多く存在し、これらは地域の宝として今も大切に保存・活用されております。

今日、地方自治体を取り巻く環境は大きく変化し、市民の皆様の価値観が多様化する中で、文化の力は大きな注目を集めております。市民一人ひとりが心豊かにいきいきと暮らし、活力のある地域社会を形成するためには、文化の力は欠かせないものであり、地域の特性を生かした個性的で魅力あるまちづくりを進めていくうえでも、大きな役割を果たすと期待されております。

本市では、平成20年度から平成29年度までの10年間を計画期間とした、文化振興の総合的な指針となるマスタープラン「府中市文化振興計画」を策定いたしました。本計画を着実に推進することにより、本市の目指す文化振興における基本理念「人と文化をはぐくむまち府中」の実現に取り組んでまいります。また、幅広い市民の皆様との協働による、市民が主役の文化的なまちづくりを推進してまいります。

結びに、本計画の策定にあたり、貴重なご意見をお寄せいただきました市民の皆様、文化振興計画検討協議会において熱心にご議論いただき、ご提言を賜りました委員の皆様や関係の方々に改めて心からお礼申し上げます。